

ITUAJより

編集後記

年度が改まってから、早くもひと月が経ちました。

ITU-Tでも新たな研究会期が始まっています。

トピックスでは、WTSA-24を経て日本からITU-T Study Groupの議長・副議長に就任されました皆様へのインタビューを、2号にわたりお伝えします。

そして、本号の特集はCES2025レポートです。

今回は米国ICT業界の展望についてもご紹介いただくことができました。また出展者レポートとしては、日本の企業3社から、製品・サービスをご紹介いただきました。現場へのより実用的な対応を可能にする技術の解説、CESでの反応についても報告されています。

どうぞご精読ください。

ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら https://www.ituaj.jp/?page_id=793

編 集 委 員

委員長 亀山 渉 早稲田大学

委 員 成瀬 由紀 総務省 国際戦略局

〃 谷内 正登 総務省 国際戦略局

〃 青野 海豊 総務省 総合通信基盤局

〃 小林 伸司 国立研究開発法人情報通信研究機構

〃 山本 浩司 日本電信電話株式会社

〃 中山 智美 KDDI株式会社

〃 大山 真澄 ソフトバンク株式会社

〃 薮 拓也 日本放送協会

〃 酒見 美一 通信電線線材協会

〃 長谷川一知 富士通株式会社

〃 森 正仁 ソニーグループ株式会社

〃 神保 光子 日本電気株式会社

〃 中平 佳裕 沖電気工業株式会社

〃 阿藤 友紀 一般社団法人情報通信技術委員会

〃 三木 啓嗣 一般社団法人電波産業会

〃 山崎 信 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

顧問 相田 仁 東京大学

〃 新 博行 株式会社NTTドコモ

〃 田中 良明 早稲田大学

編集委員より

旅費法が改正されて

総務省 国際周波数政策室

おおの かいほう
青野 海豊



2025年4月に改正旅費法が施行されました。旅費に関する規定の改正は約40年ぶりとのことです。このページをお読みになっている方の中には、ニューヨークへの旅費が非常に高額で国家公務員は赤字で出張しているといったニュースを見聞きしたかもしれません。

私が2024年に海外出張した際には、ITUの本部があるジュネーブへの出張では、19,300円/日が宿泊費として支給されました。いままでは、この中でやりくりをしようとするとか、〇〇バジェットであるとか、ITU本部まで通勤に1時間近くかかるようなホテルから通わざるを得ないところでした。幸か不幸かサバイバル精神が鍛えられた若手職員（私を含め）が数多くいたと思います。

日本ITU協会のHPには「ジュネーブに安く泊まるには」といった記事があり、その記事の第1章には「目指せ150スイスフラン以下」とあります。「150スイスフランでは既に赤字だ・・・」と2022年に初めてジュネーブに出張したときに感じたことも懐かしい限りです（当時のレートは135円/スイスフラン程度でした）。その記事における「以前は日本代表団関係者に長年愛用されているホテル」であったり、コロナ前によくジュネーブ出張をしていた（総務省の）前任がおすすめするホテルの値段を見ると絶句することもありました。

今回の改正でジュネーブであれば上限38,000円で実費精算が可能となります。2025年4月のRAG-32会合への出張に当たっては、初めて値段をギリギリと吟味することなくホテルの予約をすることができました。しかしながら、ジュネーブでは時計の展示会などイベントが発生すると途端にホテル代金が上がります。ITUの事務局でも開催時期を配慮しているようですが、タイミングが悪いと一泊150スイスフラン程度のホテルが一泊600スイスフラン（10万円超え。2025年4月現在。）を超えるような日もあり、いまだにジュネーブの物価の高さに驚きを隠せません。実費支給の上限設定も絶妙でコロナパン駅周辺の設備がきちんとしているビジネスホテルだと若干オーバーしてきます。また、支給上限が上がっても支出できる総額があります。神経質になる度合いは少し下がりますが、数字とのにらめっこは続いていきそうです。

ITUジャーナル

Vol.55 No.5 2025年5月1日発行／毎月1回1日発行

発行人 吉田 博史

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610(代) FAX.03-3356-8170

編集人 宮下英一、石田直子、加藤慶子

編集協力 岩城印刷株式会社

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会